大仙市立中仙小学校学校報　令和５年度　NO.１２　令和５年６月２７日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

“楽らく 笑SHOW”な学校　なか１０００笑楽校

田んぼの看板 完成！

ＰＴＡ教育講演会「命の大切さ学習教室」

秋田県警察本部の協力をもらい、高学年の児童と希望する保護者の皆様を対象として、今年度のＰＴＡ研修部主催の教育講演会を開催しました。
講師は、横手市在住の〇〇さんです。平成１７年に、当時小学校の１年生だった雄宇也くんが下校途中で交通事故に遭い、帰らぬ人になってしまったご経験を踏まえ、命の大切さについてお話しくださいました。
日常の「当たり前」が突然失われた悲しさ。自分のいきがいと希望が一瞬に失われたことの大きさについて切実に語ってくれました。
ＮＨＫのニュースの映像も、とてもきれいな涙でした。突然の受け答えにも、堂々と話せる立派な子どもたちでしたね。

登下校の安全な歩き方こそ、“命を守る”第一歩

「集団登校に参加すること」「学校到着は早くても７時４０分に」

このことは、全てのご家庭にお願いして、学校としてがんばりたいことです。
そして、

「少しの雨なら歩かせてほしい」「下校も歩かせたい」
「遠くから来る子どもも、途中から集団登校に参加してもらいたい」

できることはやらせること、がまんする心を育むこと、学校のきまりやお願いを尊重する姿を子どもに示すことは、とっても大切なことだと思います。
ご検討とご協力を、再度お願いいたします。

先生方が　ちょこっと授業を見合う

『ちょっとい～参観』スタート

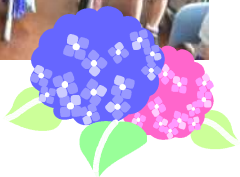
学校では、毎月の重点目標を決めて、子どもたちの育成を目指しています。

６月は「“子ども主体の学校”にスイッチオン」
７月は「教室を開いて　授業をオープン」です。

そこで、研究主任の先生がリードして、全校の授業を見合う時間が始まりました。３年生の授業のときには、あまりにも立派に勉強しているので、２年生の子どもたちもちょこっと子ども参観して、そのかっこよさに憧れをもっていました。　次回の学校報から少しずつ紹介していきます。

７月は、授業を観てもらうチャンスだらけです。

４日（火）　県教育庁仙北出張所長等訪問
５日（水）　ＰＴＡ＆学校評議員会
１０日（月）　大仙市教育委員会訪問



６年生・八乙女学習　『肥料やり体験』『つる切り体験』

例年、八乙女山で行っている肥料やり作業ですが、今年度は斉内川の北側（道の駅側）で実施しました。

八乙女山を守る会の皆様のご協力をいただきながら、１本の桜の木に８本の肥料を打ち込みました。まずは、重いバールで土に穴を空けて、太い鉛筆のようなグリーンパイルという肥料の塊を木槌でたたきます。斜面なので、なかなか難しかったようですが、後半はコツをつかんで大分スムーズに作業が進みました。

そして、今日は八乙女山に出かけて「つる切り作業」をしました。登り坂の途中にあるみんながよく見る部分の桜の手入れをがんばりました。自分たちのふるさとのよさを自分たちでつないでいく経験は、一生の宝物である心の肥料（グリーンパイル）だと思います。これこそ、「なか１０００ＳＤＧｓ」ですね。

斉内川での「肥料やり」

八乙女山での「つる切り」

４～６年生　情報モラル教室
「インターネットの安心・安全な使い方」

「大仙市情報モラルいじめ対策事業」として毎年実施している、情報モラル教室がありました。

講師は、国の情報教育等に関する施策にも関わっている仙北市在住の〇〇さんです。

千葉さんは、北秋田市の「田んぼアート」のデザインも担当している方で、情報関係以外の楽しいお話をしていただきました。

インターネットが広がる世界で注意したいこと

①ネット依存
- 食事中もスマホを手放せない
- 歩きスマホやヘッドホンの着用による交通事故
- ゲームへの課金による訴訟
- ブルーライトによる体内時計の破壊

②ネットいじめ

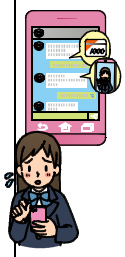
③あやしい情報の拡散やなりすまし

☆信頼できる大人に相談すること
☆見て見ぬふりをしない
☆ネット情報をきちんと選ぶ、判断する

本校でも、タブレットの日常的な持ち帰りがスタートしました。ますます子どもたちがインターネットと近くなります。他の学校でも、持ち帰ったタブレットを不適切に使用して、問題になっているという話をよく耳にします。

私がこれまで勤めた学校で実際にあったトラブルをいくつか紹介します。

- ＳＮＳで知り合った知らない人に誘われて、県外までついて行った。
  →親は「子どもを尊重して」と言って、子どものスマホの中身について見て見ぬふりをしていました。警察にも見せませんでした。
- スポ少活動の試合でのミスをＳＮＳで話題にされて、非難された子どもが学校に来られなくなった。
  →保護者間のラインでも同様の書き込みがあり、スポ少活動を止めることになりました。
- 親の知らないうちに、ゲームへの課金が増えて、多額の金額を支払った。
  →自分のゲーム機や親のスマホからの事例など、親が知らないところでの課金が多いようです。



先週、中仙地域の全小・中学校で進めている「家庭学習のてびき」をお届けしました。「家庭のルール」を記入するところもあります。記入する前の、家庭での『約束の話合い』こそ大切だと考えます。是非この機会に、必ず守る約束を決めてはいかがでしょうか？

連日の報道でも取り上げられているように、見えないだけに怖い世界が広がっていることも事実です。それでも、これからインターネットと付き合うことは必要不可欠だとも考えます。子どもたちが、安全に使えるようになるまでは、やはり大人の教えが大切です。今こそ、インターネットとの正しい付き合い方について、本気で取り組んでいきましょう。